

さんくす

発行:笠懸町第三区広報委員会

発行所:笠懸町第三区公民館

https://sannkusu-kasakake.com

sannkusu.kasakake@gmail.com

令和2年度行政区役員紹介

第三区区長 赤石太郎

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によって日々緊張が続く中、区民の皆様のご自愛くださいますよう心からお祈りいたします。

さて、本年度の行政区の3役員の紹介ですが、区長、赤石太郎、副区長、藤生定雄、同じく副区長赤石勝の3名が3月21日(土)に行われた総会において承認されました。

三区行政区はご承知のとおり、歴代の有志の方々と区民の皆様に支えられて現在の様があります。この流れを引き継ぐ大役を仰せつかり、さらに身を引き締めるところでもあります。

しかしながら、不透明な世情であり、難しい行政運営も想定されますが、皆様と共にこれを乗り越え、少しでも三区行政区区民の安定した暮らし作りに貢献できたらと考えます。微力ですがよろしくお願いいたします。

地区公民館長 赤石光史

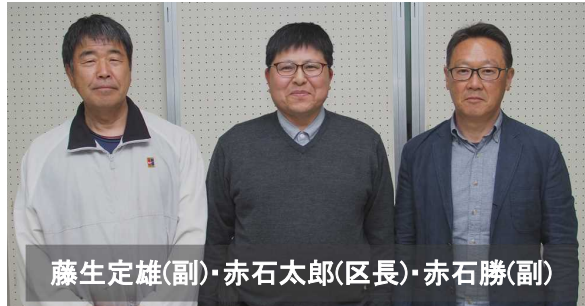
昨年度から世界的に猛威をふるう新型コロナウイルスの影響が群馬県にも出てきました。今年度の地区公民館事業は不確定な部分もありますが、区



藤生吉顕(副)・赤石光史(館長)・森田広行(副)

民の皆様の健康第一で各種事業を行っていきたいと思います。

例年どおりの事業を行うことは難しいかも知れませんが、ご協力お願いいたします。(関連3面)



藤生定雄(副)・赤石太郎(区長)・赤石勝(副)

組合員らが 堀さらい

4月25日(土)阿左美沼土地改良区三区支部組合員による農業用水路の堀さらいを実施しました(写真)。

堀さらいは組合員が毎年水田に水を引く前に水路の点検、清掃を目的とした農耕行事です。また、きれいな水で天候にも恵まれて豊作になることを願って行われています。



散歩道 (12) 阿左美沼

阿左美沼は、渡良瀬川が作り上げた大間々扇状地の扇頂近くにある沼です。かつての渡良瀬川の蛇行の後に取り残された三日月湖の一つです。

阿左美沼の歴史は古く、約230年前にさかのぼります。沼の中に「七つ井戸」と呼ばれる湧泉があり、その湧泉が水源となり湧泉を利用して古くから水田が開かれていました。また業者が鯉の養殖を行ったほか、遊園地としてボートの貸し出しなどの利用があったり、冬季には周辺の住民が凍結した水面を歩いて渡ったりしたなどの話も聞かれました。



阿左美沼は旧沼と新沼の二つから成り立っています。新沼は昭和14年に灌漑用ため池として造られたもので、昭和31年から始まった桐生競艇は、この新沼を利用して開催されています。

旧沼は、阿左美台地と岩宿台地間も窪地にあった湧水群の水が溜まって自然に出来たものと言われている、旧沼の面積は0.12

平方km、水深約2.6m、標高129m、周囲は公園化整備が図られています。水辺の一部へは湧水が流れ込み、ヨシなどが茂って湿原状となり、スイレンも植えられています。写真:阿左美沼ほとりの桜と赤城山

春の交通安全週間も、旗振りは中止

令和2年度春の交通安全週間（4月6日～4月15日）で、当初10日間の旗振りが予定されていました。運動の重点項目には「子どもを始めとする歩行者の安全確保」が第一に掲げられました。

みどり市は4月7日(火)から市立小、中学校を再開しましたが、同日に内閣総理大臣の緊急事態宣言が発表されたことにより、4月13日(月)から5月10日(日)まで小、中学校の休校を決定しましたが、その後31日(日)まで延長されることになりました。

この結果、登校時街頭での旗当番は13日(日)以降休止となってしまいました。



休校・休園で旗振りも中止

小・中・幼は休校・休園延長

みどり市は4月27日付けで、市内の小中学校と笠懸幼稚園の休校・休園を5月31日(日)まで延長することが発表されました。再会は6月1日(月)を予定しています。

これは、群馬県知事及び県教育長から臨時休校措置の延長要請をうけて、みどり市新型コロナウイルス感染症対策本部会議において決定されました。

広がる新型コロナウイルスの炎

今年に入り広がりを見せた新型コロナウイルス感染症ですが、4月に入り、みどり市でも感染者が発生するなど、収束の気配はありません。

そのため、4月12日(日)に予定された隣組長会議は感染防止の観点から中止となり、来館された隣組長さんに玄関口で行政区及び公民館役員が会議資料を手渡しで説明とお願いをしていました(写真)。また、同日に行われる予定だった各種団体長の顔合わせも中止となりました。

このほか、行政区では当面の間は公民館の利用を禁止するなどの措置を執りました。また、密集することを避けるため、グラウンドゴルフも活動を停止しました。

お年寄りの健康維持やコミュニケーションに一役買っているサロン行事も中止となっています。

地域の運営の課題は区民納涼祭で、桐生祭り、みどり市3大まつりの中止が決定されていることもあり、開催するかどうかが役員は難しい判断を迫られそうです。

新型コロナウイルス感染症は生命を脅かすだけでなく、地域のコミュニティや文化に多くの影響を与えそうです。外出自粛や暗いニュースで心がギスギスするような昨今、穏やかな気持ちで過ごしたいものです。



荒神山散策記 (1)

春の山野草たち シュンラン

今回から、地元の人々に長く親しまれている荒神山の四季折々の様子を、ハイカーの視点でレポートするコーナーがスタートします。第一回目は荒神山に咲く、春の山野草を紹介します。

まずは何と言ってもカタクリです。毎年10月に行われる地元の方々による下草刈りにより、今年も見事に咲き誇っていました。近隣の各所にもカタクリの群生地はありますが、荒神山のカタクリは自然の中に群生するたくましさがあり、迫力満点です。

またハイキングコース沿いを注意深く観察するとシュンラン(中央の絵)を見つけることができます。荒れた土壌、深い落ち葉をもろともせずに



力強く咲いています。初めて見つけた時は、多くの人がその花の高貴さに圧倒されます。

ウグイスの鳴き声を耳にしながらい線(目線)を上げて進むと、ピンク色の小さなウグイスカグラを発見、また足元にはオレンジ色のボケの花も咲いています。

荒神山から足を延ばして茶臼山まで行けば、季節ごとに更に多くの花が楽しめます。このハイキングコースはボランティアの方々により非常に良く手入れがされていて、小さな子供からご年配の方まで多くのハイカーが感謝して利用しています。

因みに笠懸東小南側の荒神山登山口から荒神山山頂までは20分程度、荒神山山頂から茶臼山山頂までは50分程度です。天気の良い日はお弁当を持ってお出掛けしてみてくださいか？

令和2年度、行政及び各種団体役員

- *行政区 区長:赤石太郎、副区長:藤生定雄、副区長(会計):赤石勝
- *地区公民館 公民館長:赤石光史、副公民館長:藤生吉顕・森田広行
- *産業区 区長:下山隆司、副区長:赤石勉、副区長:赤石太郎、久保田裕孝・森田敏雄・赤石雅巳・武井均・藤生隆行
- *母子保健推進委員:武井登美代・丸本寿美子・森田滋子・下山絹子・阿部晴美
- *親老会 会長:藤生吉雄、副会長:大須武夫・赤石磯吉、監事:小林政雄、高木三郎・開発功、女性部長:赤石節子・久保田イク・赤石ヨシ子、相談役:赤石幸雄
- *防犯委員 新井茂男・赤石太郎・赤石功
- *青少年育成推進員 須藤利晴・岩野一
- *地区公民館防火管理者 下山和英
- *笠懸町交通指導員 渡辺清・須永茂
- *交通安全会 支部長:下山隆司、婦人支部長:星野敬子、副支部長:石毛敬造・武了一、副婦人支部長:武井しのぶ
- *体育協会 支部長:中村正義、岡田勉・塚本吉昭・赤石知巳・丹羽弘光・今泉健司・森田徹・藤生大介・須藤秀和
- *民生委員・児童委員児童委員 会長:森田峯治、和泉たか代・下山登美子・赤石彦三
- *福祉部 会長:森田峯治、中村篤美・和泉たか代・下山登美子・赤石彦三・赤石太郎・藤生定雄・渡辺清・高野千歳・大須武夫
- *子ども育成会 会長:久保田麻美、副会長:久保田照美・中村悦子、松島由紀子・新井さゆり・赤石綾・大野千安紀・中島芳恵・金井しのぶ・小野里久美・須藤早妃・片桐美佐・今泉健司・丹羽あゆみ・小久保美代・大手ひとみ・小山博子・山本久美
- *八木節愛好会 会長:赤石晋一、副会長:松田周明、会計:赤石晋一、顧問:藤生福造・武井道夫
- *かさかけヘルス 部長:赤石君子、会計:金子信子
- *安全安心推進委員会 委員長:森田敏章、副委員長:藤生吉雄、会計:斎藤利弘、顧問:赤石晋一・赤石康一
- *さんくす広報委員会 委員長:武井章、編集長:新井栄、武井幸雄・須藤利晴・赤石太郎・植竹晴彦・金子忠司
- *ひまわりコーラス 部長:岩野次代、下山まち子・関根迪江・藤生恒子・丸本寿美子・久保田イク・星野静代・武井登美代・桐生陽子・赤石ヨシ子
- *みずほ会 赤石節子
- *ゴルフ愛好会 小林政雄
- *消防団第一分団 堤康吉 (敬称略)



エントランス

阿左美駅の新駅舎使用開始

東武鉄道「阿左美駅」の新駅舎とホームが完成し3月14日(土)の始発から使用開始となりました。

阿左美駅の新駅舎は、阿左美バイパスの拡幅に伴い旧駅舎から新桐生駅方向へ200m離れた所に新設されました。建物の外側は黒を基調にしたタイル張りのデザインです。建物



ホームから望む旧駅方面

内に入ると改札からホームへ続く階段とスロープ部分は光を透過する淡いグリーンのアクリル板が貼られています。明るくモダンでありながら、蔵や城壁などを連想させる伝統的な重みも感じさせる造りとなっています。



ホームへ続くスロープ

また、トイレは駅舎の西側に設置されていて駅外側からの利用が可能となっています。



ホームに設置されたベンチ

駅周辺の送迎用のロータリーや植栽、歩道などは現在工事中となっていて、バスの乗り入れが可能になるのは6月頃になる模様です。

なお、旧阿左美駅構内にある縄文時代の竪穴式住居遺跡は今後も保存され、引き続き見学ができるようになる予定とのことです。

浅海八幡宮 春季例大祭

4月15日(水)
浅海八幡宮において春季例大祭が開催されました。

今年は新型コロナウイルス感染症が流行っている時節柄、地域住民の代表として一区と三区の行政区長さんを招待し、氏子役員と共に地域の安寧と発展を祈願しました(写真)。



青空に映えるハナミズキ

本来なら屋外で体を伸ばしたくなる4月の末、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で外出はかなわず、自粛疲れやストレスで心まで荒んできそうです。

その反面、地球的規模でCO2やPM2.5が減少し、青い空が戻ってきているようです。

笠懸公民館付近のハナミズキは赤やピンク、白の花が青い空に枝を伸ばし、競うように咲いています。



区民ゴルフ、優勝は岡田さん

3月15日(日)、恒例の三区区民ゴルフ大会が城山カントリー倶楽部で行われ、岡田弘さんがネット72で優勝しました。

参加者26名、新ペリアルルール(ハンデキャップ方式)でそれぞれのプレーを十分楽しんだ一日でした(写真)。

当日は赤石陸翁さんがホールインワンを出すという祝い事もあって、大変盛り上がった大会になりました。

結果は以下のとおりです。優勝:岡田弘、準優勝:水出康雄、三位:森田益美。敬称略。



ちょっとピンぼけ

今年1月、みどり市では公共施設等の「個別実施計画」策定に関する説明会が行われた。この中で気になるのは、地区公民館を区に移譲するというもの。

しかし、区には法人格がなく、移譲を受けるには法人を設立して登記をする必要がある。その代表は区長になると思われ、区長の交代があれば変更登記が必要で、怠れば区長以外が代表となり、登記と代表が一致しないことになる。

法人ともなれば公的支出割合など、お金の使い方や決算等の監査も厳しくなる。つまり、組織の公益性や組織運営の有りようが法人として厳しく問われ、区長が毎

資源ゴミ回収で育成 会活動資金 協力を

三区育成会活動の一環として、今年度も資源ゴミ回収を年3回(6月、11月、2月)開催予定しています。

6月の開催については下旬を予定しているようですが、新型コロナウイルスの影響により未定となっています。詳細については6月中旬までに回覧で各世帯に案内する予定です。

久保田育成会会長は「収益は、育成会活動の財源として、三区の子ども達のために是非ご協力をお願いします」と話していました。

第1回目の開催日時および開催場所等:別途回覧にて案内の予定となっています。回収品目は以下のとおり。新聞紙、雑誌、ダン

ボール、アルミ缶、スチール缶、ビール瓶、一升瓶。瓶は茶色のみですのでご注意ください。

ドッジボール

仲間募集

三区子ども育成会では、例年4月から球技大会に向けてドッジボールの練習を開始しています。

しかし、今年度は皆さんもご存じのとおり、新型コロナウイルス感染防止のため5月31日までの休校が決定しています。

そのため、ドッジボールの練習についても見合わせることにしたそうです。毎年6月に開催されている夏季球技大会は中止が決定されました。

練習開始については、子ども育成会から別途案内するそうですので、その時には多くの皆さんが参加して一緒に楽しみましょう。

年変わる現状では職務の引き継ぎは簡単ではない。

また、区長は印鑑証明と実印があれば、公民館の土地と建物を担保にお金を借りることも出来るし、売ることさえ可能となる。実際には定款が作られるから、区長の好き勝手には出来ないのだが、区長は責任が重くなるのと同時に、より大きな権限を持つ事になることは容易に想像できる。

みどり市は「人口に対して公共施設が多く、経費削減をしたい」というのが理由のようだが、法人設立による問題点の精査が不十分なまま提案されたように思えてならない。地区公民館は地域コミュニティーの要。事の成り行きを注視する必要があるようだ。(栄)